

25:1 ゼデキヤの治世の第九年、第十の月の十日に、バビロンの王ネブカドネツアルは、その全軍勢を率いてエルサレムを攻めに来て、これに対して陣を敷き、周囲に壘を築いた。

25:2 こうして都はゼデキヤ王の第十一年まで包囲されていた。

25:3 第四の月の九日、都の中で食糧難がひどくなり、民衆に食物がなくなった。

25:4 そのとき、都は破られ、戦士たちはみな夜のうちに、王の園に近い二重の城壁の間にある、門の道から出て行った。カルデア人が都を包囲していたので、王はアラバへの道を進んだ。

25:5 カルデアの軍勢は王の後を追い、エリコの草原で彼に追いついた。すると、王の軍隊はみな王から離れて散ってしまった。

25:6 カルデアの軍勢は王を捕らえ、リブラにいるバビロンの王のところに彼を連れ上り、彼に宣告を下した。

25:7 彼らはゼデキヤの息子たちを彼の目の前で虐殺した。王はゼデキヤの目をつぶし、青銅の足かせをはめて、バビロンへ連れて行った。

25:8 第五の月の七日、バビロンの王ネブカドネツアル王の第十九年のこと、バビロンの王の家来、親衛隊の長ネブザルアダンがエルサレムに来て、

25:9 【主】の宮と王宮とエルサレムのすべての家を焼き、そのおもだった建物をことごとく火で焼いた。

25:10 親衛隊の長と一緒にいたカルデアの全軍勢は、エルサレムを取り巻く城壁を打ち壊した。

25:11 親衛隊の長ネブザルアダンは、都に残されていた残りの民と、バビロンの王に降伏した投降者たちと、残りの群衆を捕らえ移した。

25:12 しかし、親衛隊の長はその地の貧しい民の一部を残し、ぶどうを作る者と農夫にした。

25:13 カルデア人は、【主】の宮の青銅の柱と、車輪付きの台と、【主】の宮にある青銅の「海」を砕いて、その青銅をバビロンへ運んだ。

25:14 また、灰壺、十能、芯取りばさみ、平皿、奉仕に用いるすべての青銅の器具を奪った。

25:15 また親衛隊の長は、火皿、鉢など、純金や純銀のものを奪った。

25:16 ソロモンが【主】の宮のために作った二本の柱、一つの「海」、車輪付きの台、これらすべての物の青銅の重さは、量りきれなかった。

25:17 一本の柱の高さは十八キュビト、その上の柱頭は青銅、その柱頭の高さは三キュビトであった。柱頭の周りに格子細工とざくろがあって、すべて青銅であった。もう一つの柱も、格子細工もこれと同様であった。

バビロンの王ネブカデネザルによって王となれたゼデキヤでしたが、結局そのネブカデネザルによって捕えられ、目をえぐられて捕虜となりました。彼もまた主に信頼しないで、主に反逆した王でした。

この世の力によって権力や地位を得たとしても、結局この世によって裏切られることとなります。主にしたいがい、主からの信任を受けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

